

情報学部総合情報学科 学士課程教育プログラム

1. 学科の目的

情報学部総合情報学科は、情報化社会に対応しつつ、ビジネスの中核を担う企画力と実行力を有し、社会と積極的に関わり社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

2. 教育の目的と学位授与の方針

本学の教育は大きく分けると「教養力」と「専門力」の育成に分類され、それぞれ次のような教育の目的と学位授与の方針となっています。

2.1 教育の目的

教養力の育成とは、本学在学中はもとより、社会人として活動するために必要な基礎力の鍛錬と人格を含めた自己形成がその主な内容となります。命の大切さを知り、われわれを取り巻く社会や自然、さまざまな文化活動について、幅広い学問領域の学識の一端に触れることで課題を発見し、主体的に考え、必要に応じて自ら行動できる人間力の豊かな人物を養成します。仲間とコミュニケーションをはかり、協働し合い、自分で自分を磨き上げる苦労と喜びへと促します。

本学科が目標とする専門力の育成とは、社会に通用する生きる力、問題解決能力、コミュニケーション能力、情報処理能力の育成です。近年における企業を取り巻く環境は、大きく変化し、今後更に変化すると思われます。

こうした変化の中、企業が求める人材やその能力にも大きな変化が見られるようになりました。そうした人材を育成するために、新たな時代のビジネスパーソン(企業人)になるための基礎的知識を学ぶと共に、企業経営、スポーツ関連の専門科目について企業経営に資する人材になるため経営情報・スポーツ情報に関する分析力、考察力、問題解決力を学びます。

なお、本学科はビジネス全般を学ぶ経営情報コースとスポーツ関連のマネジメントを学ぶスポーツ情報コースを設定しています。

2.2 学位授与の方針

総合情報学科では、以下の力を備えた者に学位を授与します。

(教養力)

1. 英語の習得に積極的に取り組み、英語力を向上させ、基礎的なコミュニケーションを行うことができる。
2. 外国語学習を通して異文化に関する理解を深め、国際社会に対応するための素養を身につけることができる。
3. 規律ある生活を維持し、心身の健康管理を心がけ、大学における学習生活の基礎を身につけている。
4. 豊かな人間性と心の問題について幅広い知見を有し、自律的かつ柔軟に考えることができる。
5. 市民社会の一員として、社会科学の基礎知識に基づき、価値観の多様性を踏まえた適切な行動が選択できる。
6. 自然科学的、数理的なものの見方を通じて、日常生活において良識ある判断を下すことができる。
7. 現代社会の問題群を多角的にとらえ、コミュニケーションをとりながら問題解決に当たることができる。

(専門力)

8. 知と技能を高めていく主体的な学習態度が備

(7)経営またはスポーツ分野の情報や調査・実験データ等を論理的に分析することができ、かつ問題解決のために応用できる

社会生活において、情報の管理は不可欠です。ビジネス文書やスプレッドシートの作成や管理だけでなく、データベースや情報ネットワークに関する基礎知識とスキルの習得も必要です。これらの知識とスキルを活用した問題解決能力を発揮できるための素養も習得します。

(8)獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自由な発想の下、独自に工夫・応用し、新たな知見を創造する力が備わっている

現代社会において創造性ある人材は最も貴重な人材として評価されます。与えられた知識を吸収するだけでなく、これを応用して新たな知見を創造するためのスキルを身につけます。

4. 標準教育プログラムから見た教育課程の位置づけ

図1は、上記で説明した標準教育プログラムを実行するために必要な教育課程の構成概念をまとめたものです。また、4年間の具体的な授業科目の単位数等については、開講科目一覧を参照して下さい。授業科目は、人間科学科目群、専門基礎科目群、専門科目群の3つの群から構成されています。以下では、各群の教育内容について説明します。

学年	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
科 目 群 の 位 置 づ け	人間科学科目群 社会・自然・人間と科学技術を調和させるための幅広い知識を習得し、必要な教養を身につけます。 専門基礎科目群 今まで学習してきた内容を大学での専門教育につなげるための基礎的素養を身につけます。 専門科目群 基幹科目 専門知識を習得するときの土台となる科目です。 展開科目 興味や将来の進路にしたがってより高度な学習ができる科目です。 卒業研究 該当科目は、セミナ1、2、3、4、卒業研究です。セミナは卒業研究の土台となる科目です。			

図ー1 総合情報学科の教育課程概念図

4.1 人間科学科目群

(1)教育内容

a 人間科学科目群 Aグループ

①ファースト・イヤー・セミナ

ファースト・イヤー・セミナ(First Year Seminar、略してFYS、初年次セミナ)とは、新入生である皆さん方全員に、今後4年間の大学教育に不可欠な「学習技法(スタディ・スキルズ)」を習得してもらう科目です。いわば「大学での学び方」を学ぶ授業科目です。

キャリア開発 1、キャリア開発 2、キャリア開発 3

②展開科目

基幹科目で学習した内容を基に、3年次から4年次に掛けて開講される展開科目では、専門科目の発展的な内容を修得します。展開科目のうち、専門科目群の4つの柱となるカテゴリーに該当する科目は以下の通りです。

・経営情報部門

経営実践3、中小企業論、環境経営論、ベンチャービジネス論、国際経営論、物流論、経営情報論、インターネットビジネス、海外事情 A、海外事情 B、管理会計論、経営分析、金融と財務、労働法、知的財産権、

・スポーツ情報部門

プレゼンテーションスキル、スポーツ情報実践3、スポーツと安全、スポーツマネジメント

・データサイエンス部門

データサイエンス演習、データサイエンス演習2

・キャリア開発部門

キャリア開発4、インターンシップ

③卒業研究

卒業研究は、 세미나 1、 세미나 2、 세미나 3、 세미나 4 および卒業研究から構成されており、この科目においては、各自が研究課題を設定し、その研究を行います。卒業研究は論文としてまとめ、最後に研究内容の発表を行います。

(3)学修到達目標

標準教育プログラムで述べた内容をどのような順序で学び、どのような知識を修得するのかについては、各科目の学修到達目標と学位授与の方針との関係性を示すカリキュラムマップにまとめて示しています。

5. カリキュラム・フローチャート

専門基礎科目群の授業科目は、総合情報学科における学びの土台となる科目からなります。また、専門科目群の授業科目は、柱となる4つのカテゴリーの基礎となる基幹科目とそれらの知識を発展させる展開科目、卒業研究からなります。図－1にあげた専門基礎科目群および専門科目群のカリキュラム・フローチャートを図－2、図－2. 1に示します。

